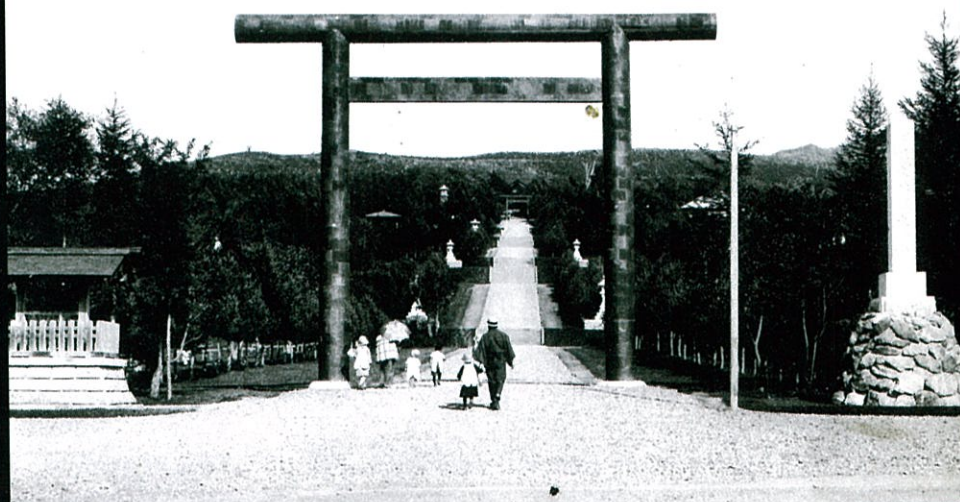




SHOKOKU-JINJA SHRINE, KARAFUTO
蝦夷の社神境 (矢野)

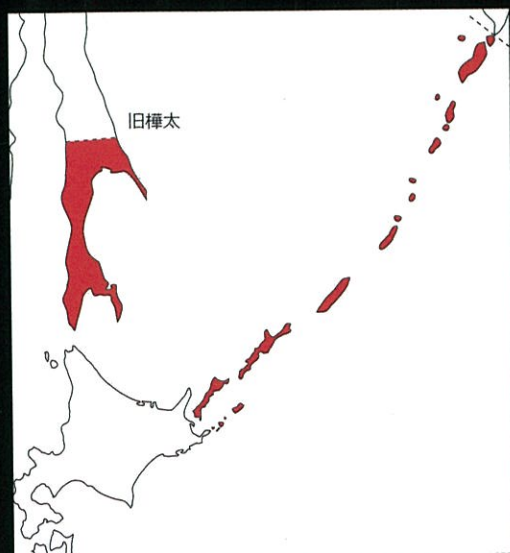


THE BEAUTIFUL CITY TOYOHARA, KARAFUTO.
(原豊太権) 社神太権社大幣官



神奈川大学非文字資料研究センター 2014年度 第4回公開研究会

旧樺太 (現ロシア連邦サハリン州) における 神社の創建と跡地の現況



日時：2014年11月22日 (土)

14:00～18:00

会場：神奈川大学横浜キャンパス 3号館207室

報告：『旧樺太時代の神社について』

前田 孝和 (神社新報社 取締役 非文字資料研究センター客員研究員)

『旧ソ連邦時代の神社政策と神社跡地の現況について』

Igor Anatolievich Samarin (ロシア・サハリン州文化局 顧問)

通訳：遠坂創三 (神奈川大学ロシア語講師)

参加自由 / 事前申し込み不要

開催趣旨

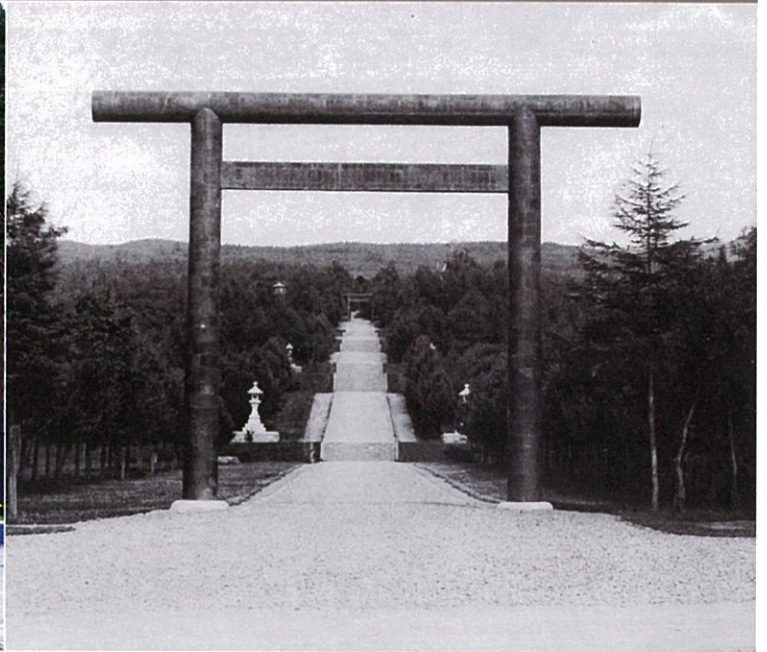
神奈川大学非文字資料研究センター「海外神社跡地のその後」研究班では、これまでに旧台湾、旧朝鮮の海外神社（跡地）を中心に研究をすすめ、公開研究会にて研究成果を発表してまいりましたが、この度、初めて旧樺太（現ロシア連邦サハリン州南部）の神社とその跡地に焦点をあてた公開研究会を開催することになりました。

旧樺太には官幣大社樺太神社をはじめ、約130の神社が建てられましたが、今回の報告者、前田孝和氏（神社新報社取締役総務部長、本センター客員研究員）は北海道神社庁編『樺太の神社』（神社新報社、2012年）、同『北方領土の神社』（同、2005年）等を中心に企画・監修するなど、旧樺太、千島列島地域の神社研究の第一人者です。

また、I・A・サマリン氏（ロシア連邦サハリン州文化局 顧問）は前職のユジノ・サハリンスク郷土博物館に勤務されている頃から、旧樺太時代に建てられた神社や奉安殿等の日本建築の調査を行い、また上記の2冊にも執筆をするなど、氏もまた、ロシアにおける旧樺太時代の神社研究の第一人者です。

このように、今回の公開研究会は、日・ロにおける神社研究の第一人者が一度に顔を揃える、またとない機会となります。多くの方々のご来聴を歓迎いたします。

尚、旧樺太に建てられた神社と若干性格を異にしますが、「北方領土」を含む、千島列島に建てられた神社（跡地）も対象として取り上げる予定です。



《プログラム》

開会挨拶：内田青蔵（非文字資料研究センター長）

開催趣旨説明：中島三千男（非文字資料研究センター研究員）

報告：『旧樺太時代の神社について』 前田孝和（神社新報社取締役 非文字資料研究センター客員研究員）

『旧ソ連邦時代の神社政策と神社跡地の現況について』 Igor Anatolievich Samarin（ロシア・サハリン州文化局 顧問）

通訳：遠坂創三（神奈川大学ロシア語講師）

質疑応答

【問い合わせ先】

〒221-8686

横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学日本常民文化研究所

非文字資料研究センター事務室

Tel: 045-481-5661（内線3532）

Fax: 045-491-0659

<http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>

【交通のご案内】

東急東横線「白楽駅」下車 徒歩13分

横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅西口経由）

1番乗場36系統 菅田町/緑車庫行「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

1番乗場82系統 八反橋/神大寺入口行「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。



神奈川大学横浜キャンパス